

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	地域ボランティアの定期訪問があり、ホームが入居しているビルのオーナーや自治会長から、地域の情報を得て地域の行事の祭りに入居者と一緒に参加している。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	メンバーは協力歯科医、地域代表、家族代表からなり、偶数月に開催し年に6回実施している。議題は行事計画、活動報告、ホームの現状報告などである。出席者からの質問、提案、発言は今のところ出されたことがなく、ホームからの報告が中心になっている。議事録は家族の訪問時に見てもらい、職員は回覧し、内容を確認している。	
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	必要な手続きのため、月2回区の担当窓口を訪れている。その時担当者との情報の交換を行っており、内容により協働することもある。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	「ふれあいはつらつ新聞」を毎月発行しており、入居者の様子など伝えている。家族の来訪時には、管理者が必ず対応して、意見、要望などを聞き、これをホーム運営に反映させている。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	×
総合評価		×

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは名古屋の旧市街地域に位置し、近くには、日赤病院、神社、寺、スーパー等があり、散歩や買い物で生活環境に恵まれているが、少子高齢化が進行する地域でもある。管理者は介護老人福祉施設での経験をもとに、入居者一人ひとりのペースやニーズに合わせた生活の支援を目指し、入居者が6名という少人数で開設している。管理者はホームは施設ではなく、家庭であり、入居者、職員皆家族であると考えており、これを全員に伝え職員は常に意識しながらケアに努めている。

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	（例示） 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	（例示） 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	（例示） 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。